

1. 目的

各周産期母子医療センター（以下、「周産期センター」という。）及びNICU病床を有する周産期連携病院（以下、「連携病院」という。）を対象に、NICU入院児の現状や支援体制の実態を把握するとともに、退院時の医療ケア等の状況や導入した社会資源等の取組を推進していく上での基礎資料とする。

2. 調査対象施設（令和5年10月1日時点）

- （1）都内の総合及び地域周産期母子医療センター 29施設
- （2）都が指定する周産期連携病院のうちNICU病床を有する施設 4施設

3. 調査項目

- （1）施設の体制
NICU入院児支援コーディネーターの配置、在宅移行支援準備の体制、NICU等退院児の受入体制、NICU等退院児のレスパイトの体制
- （2）長期入院児の現状
- （3）NICU等退院児の状況

4. 調査基準日

令和5年10月1日

5. 調査方法

郵送・メールにより自記式調査用紙を送付し、郵送又はメールにて回収

6. 調査回答数

33施設（回収率100%）

7. その他

各施設の体制に関する調査基準日は、令和5年10月1日。退院児の実績は令和4年度分。

8.結果

《施設の体制》

NICU入院児支援コーディネーター配置 ／29施設（87.9%）と前年度と同様
在宅移行訓練実施 ／31施設（93.9%）と前年度と同様
NICU退院児の短期入院（レスパイト）実施／18施設（54.5%）で前年度より1施設増

《長期入院児の状況》【令和5年10月1日現在】

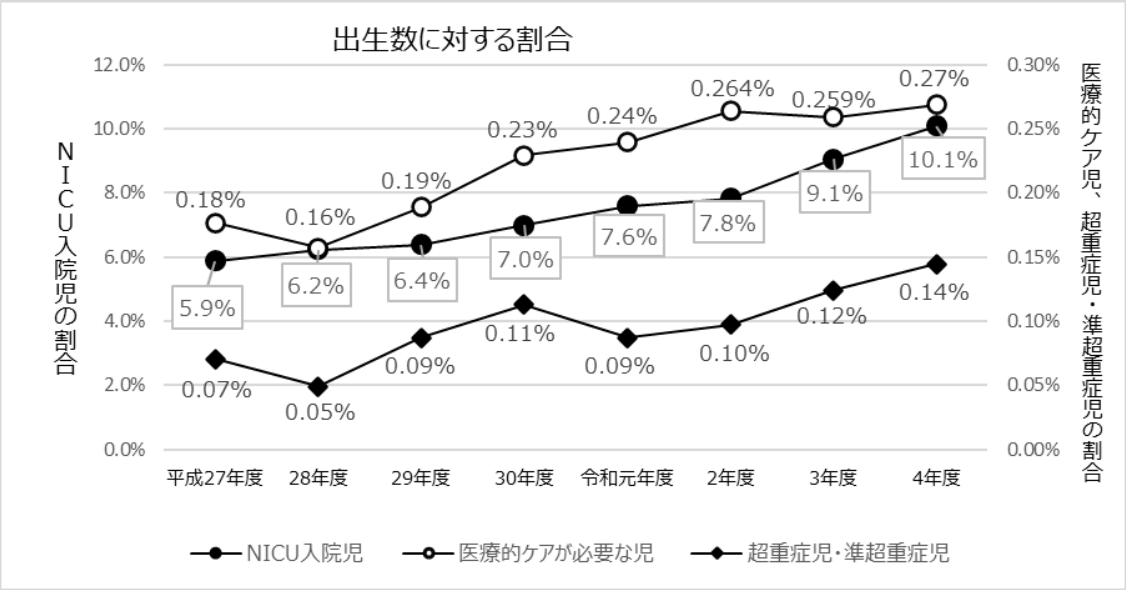
NICU・GCU・小児科等へ90日以上入院／ 104人 前年より9人増
NICU・GCUに90日以上入院 ／ 83人 前年より6人増
1年以上入院 ／ 17人（そのうちNICUでは1人、GCUでは9人）

《NICU等退院児の状況》【令和4年度】

医療・介護ニーズのある児 ／245人 前年度より2人減
退院時の医療デバイス ／経管栄養138人、酸素吸入等131人、呼吸器管理68人
在宅移行訓練 ／151人（62%）
訓練内容 ／院内で在宅シミュレーション125人（82.8%）、外泊訓練1人（0.7%）
 院内+外泊訓練25人（16.6%）

退院時に導入したサービスや資源／急性増悪時の緊急入院先確保、保健所・保健センター、訪問看護

NICU入院児の推移



出生数に対する割合

NICU入院児の割合 **増加**

令和4年度 10.1%
令和5年度速報値 10.2%

医療的ケア児の割合 **増加**

令和4年度 0.27%
令和5年度速報値 0.26%

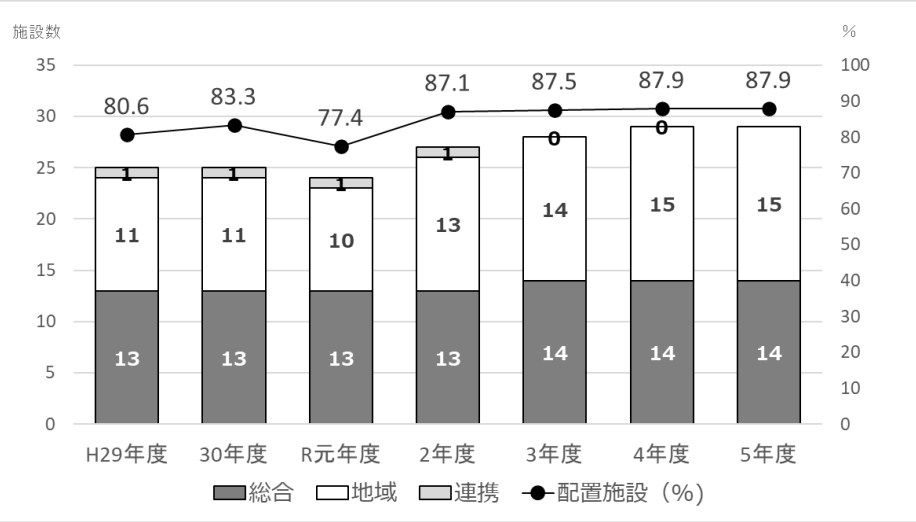
超重症児
準超重症児の割合 **増加**

令和4年度 0.14%
令和5年度速報値 0.12%

	平成27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度
出生数（東京都）	113,194	111,964	108,990	107,150	101,818	99,661	95,404	91,097
NICU入院児数	6,651	6,988	6,972	7,500	7,742	7,805	8,635	9,202
対出生数割合	5.9%	6.2%	6.4%	7.0%	7.6%	7.8%	9.1%	10.1%
医療的ケアが必要な児	200	176	206	246	244	263	247	245
対出生数割合	0.18%	0.16%	0.19%	0.23%	0.24%	0.264%	0.259%	0.27%
超重症児・準超重症児	80	55	95	121	89	97	111	132
対出生数割合	0.07%	0.05%	0.09%	0.11%	0.09%	0.10%	0.12%	0.14%

施設の体制

NICU入院児支援コーディネーターの配置

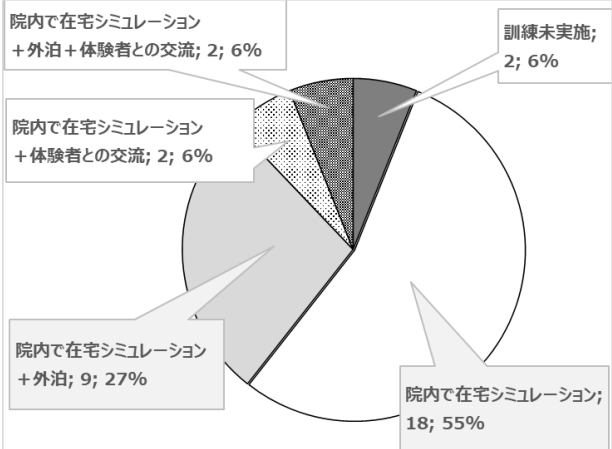


33施設中29施設（87.9%）

- ◆ 全ての総合・地域周産期母子医療センターで配置
- ◆ 周産期連携病院では配置なし

（NICU入院児支援コーディネーター）
長期入院児をその状態に応じた望ましい環境へ円滑に移行させる役割があり、医学的・社会的ハイリスク児及び家族を対象

在宅移行のための訓練の実施状況

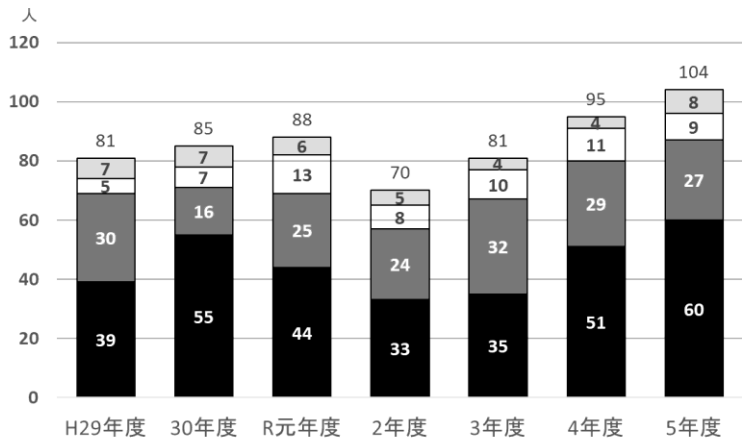


短期入院（レスパイト）の実施状況

	実施		無実施	合計
	自院の児のみ	他院の児も可		
全体	12 36.4%	6 18.2%	15 45.5%	33 100%
総合	5	3	6	14
地域	6	3	6	15
連携	1	0	3	4

長期入院児の状況

入院期間別長期入院児数の推移



■ 90日以上半年未満 ■ 半年以上1年未満 □ 1年以上2年未満 □ 2年以上

主な原因疾患

	90日以上 半年未満	半年以上 1年未満	1年以上 2年未満	2年以上	合計
入院児数	60	27	9	8	104
該当している疾患数 (一人当たり)	1.9	2.1	1.8	3.3	2.1
低出生体重児	36 60.0%	15 55.6%	4 44.4%	6 75.0%	61 58.7%
慢性肺疾患	31 51.7%	13 48.1%	3 33.3%	6 75.0%	53 51.0%
先天性心疾患	17 28.3%	8 29.6%	3 33.3%	5 62.5%	33 31.7%
先天異常症候群	15 25.0%	11 40.7%	1 11.1%	5 62.5%	32 30.8%
新生児仮死	11 18.3%	2 7.4%	3 33.3%	4 50.0%	20 19.2%
神経・筋疾患	5 8.3%	8 29.6%	2 22.2%	0 0.0%	15 14.4%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

複数回答

長期入院児数は令和3年度以降増加

90日以上入院 / 低出生体重児が最多 51.0%

退院できない理由 / 病状不安定 76.9%

療養環境未整備 23.1%

家庭環境・経済的理由14.4%

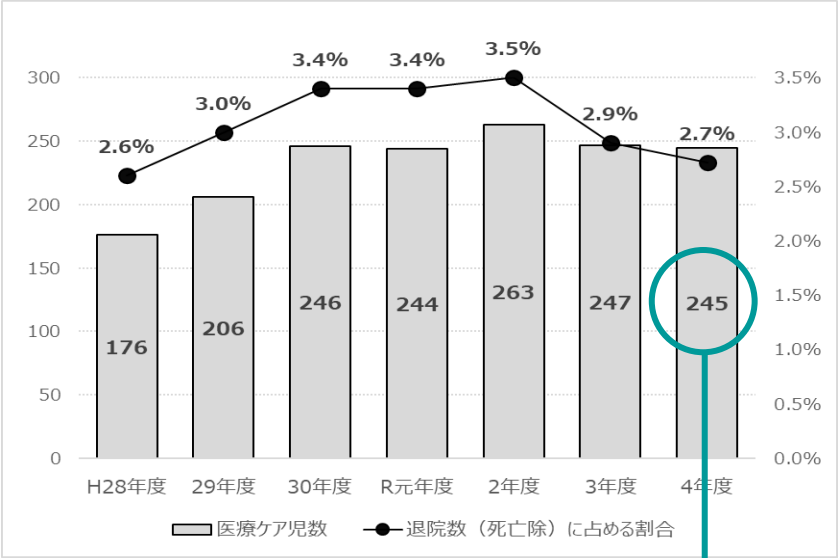
退院できない理由

	90日から 半年未満	半年から 1年未満	1年以上	2年以上	全体
入院児数	60	27	9	8	104
該当している退院できない理由 (一人当たり)	1.3	1.6	1.8	2.6	1.5
病状不安定	48 80.0%	21 77.8%	7 77.8%	4 50.0%	80 76.9%
家族の医療技術習得 等療養環境未整備	13 21.7%	7 25.9%	3 33.3%	1 12.5%	24 23.1%
家庭環境・経済的理由	3 5.0%	5 18.5%	3 33.3%	4 50.0%	15 14.4%
家族の受入不良	4 6.7%	3 11.1%	0 0.0%	4 50.0%	11 10.6%
施設入所待ち	2 3.3%	3 11.1%	1 11.1%	2 25.0%	8 7.7%
中間施設としての小児 科受入体制不十分	2 3.3%	0 0.0%	0 0.0%	4 50.0%	6 5.8%
地域のサポート体制 が不十分	2 3.3%	1 3.7%	2 22.2%	1 12.5%	6 5.8%
在宅医療フォロー 体制が不十分	1 1.7%	3 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	4 3.8%
レスパイト先確保問題	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	1 1.0%
その他	3 5.0%	1 3.7%	0 0.0%	0 0.0%	4 3.8%

複数回答

医療的ケア児の状況

医療・介護ニーズのある児の推移



令和4年度
NICU退院児／9,093人（うち死亡93人）
退院児（死亡除く）のうち、医療・介護ニーズ245人

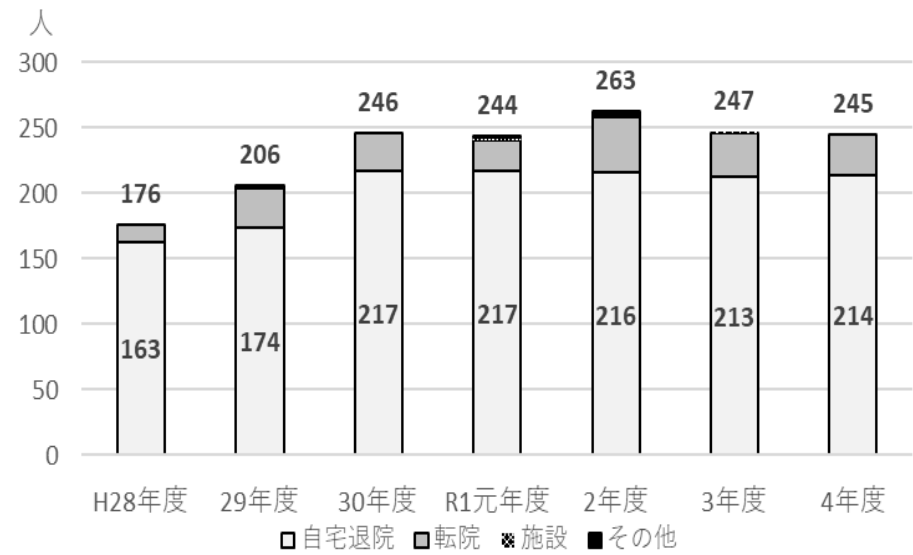
R4の内訳（在胎週数・出生体重）

出生時体重	在胎週数					合計	
	22-23W	24-27W	28-33W	34-36W	37-41W		
500g未満	9	3	1	-	-	13	5.3%
500～1,000g未満	9	33	8	-	-	50	20.4%
1,000～1,500g未満	-	4	16	4	2	26	10.6%
1,500～2,500g未満	-	-	7	13	41	61	24.9%
2,500g以上	-	-	1	11	83	95	38.8%
合計	18	40	33	28	126	245	100%
	7.3%	16.3%	13.5%	11.4%	51.4%	100%	

在胎週数37週から41週2500 g 以上が最多
（在胎週数）
最小値／22週 中央値／37週
（出生体重）
最小値／312 g 中央値／2264 g

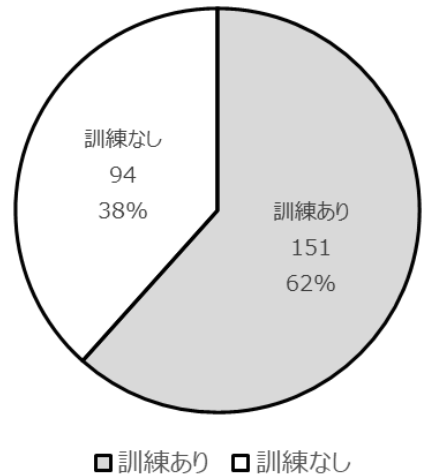
医療的ケア児の状況

退院の状況



R4 医療・介護を必要とする245人のうち
自宅退院 214人
転院 31人

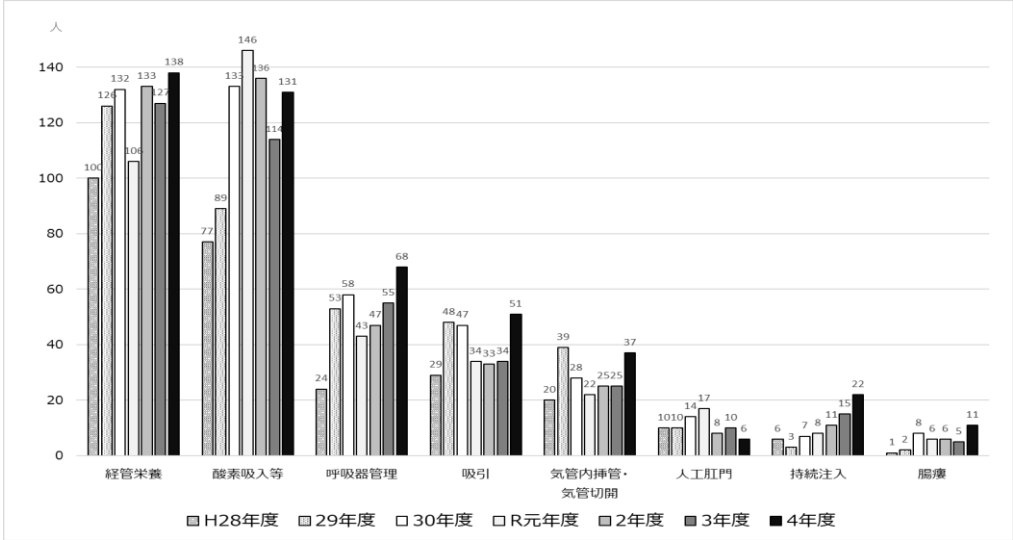
在宅移行訓練の実施状況



R4 医療・介護を必要とする245人のうち
訓練実施 151人
院内で在宅シミュレーション 125人
外泊訓練 26人

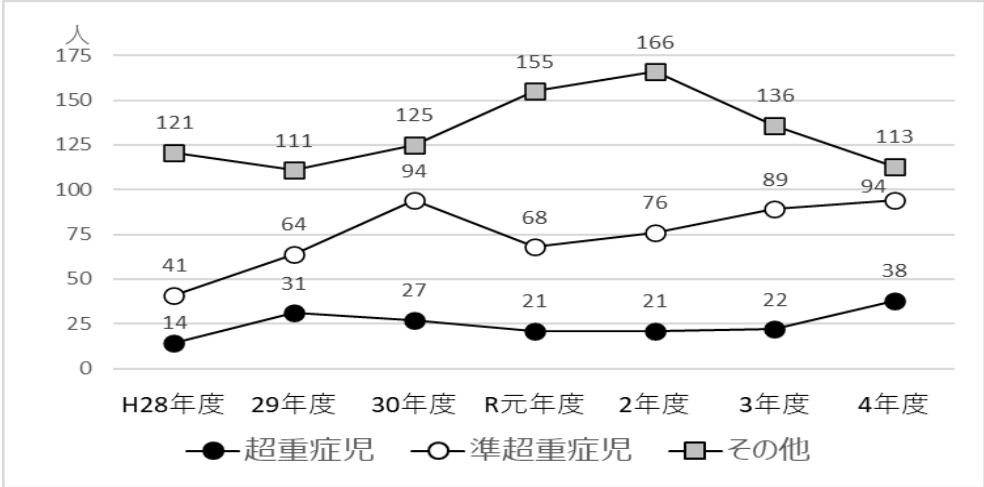
医療的ケア児の状況

医療デバイスの状況



医療デバイス／経管栄養が最多
(H27年度以降の状況)
経管栄養、呼吸器管理、吸引、持続注入、
腸瘻が増加傾向

重症度



令和2年度以降
超重症児、準超重症児／増加傾向